

防災地図作成へ 身近な危険調査

神村小児童 学区内巡る



道路の割れ目の危険性について説明を受ける児童

いて話し合いながら、メモを取っていた。今後、活動結果をまとめて防災マップを作成。神村公民館などでの掲示も目指す。井村ななみさん(12)は「説明を聞いたことで危険な場所が思ったよりも多いと分かった。分かりやすいマップを作りみんなに伝えたい」と意気込んでいた。

フィールドワークは総合学習の一環で、児童の危機回避能力を高める狙い。昨年の西日本豪雨で学区内にも土砂崩れや断水などの被害があったことから初めて行った。

(安田有輝)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。